

次々期静止気象衛星の 検討状況について

令和8年2月27日

静止気象衛星に関する懇談会

気象庁

次々期静止気象衛星の検討

- ひまわり9号は令和16年度に運用終了予定。
- 2機による切れ目のない安定観測体制を維持するため、ひまわり10号の製作～運用開始までに要する見込みの期間(約6年)を踏まえると、次々期静止気象衛星については、令和10年度頃に製作に着手することを想定。

◆宇宙基本計画工程表（令和7年12月23日 宇宙開発戦略本部決定）

(2) 国土強靱化・地球規模課題への対応とイノベーションの実現

年度	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	令和13年度 (2031年度)	令和14年度 (2032年度)	令和15年度 以降
	ひまわり8号の軌道上待機運用 [国土交通省]										
	ひまわり9号の運用・利用 [国土交通省]								ひまわり9号の軌道上待機運用[国土交通省]		
	ひまわり10号の整備[国土交通省、総務省]						打上げ ▲	ひまわり10号の運用・利用 [国土交通省、総務省]			
	宇宙環境センサの 技術開発(試験機)[総務省]		ひまわり10号へ搭載する宇宙環境センサ の開発(実機)[総務省]								
			次々期静止気象衛星の 検討[国土交通省]				次々期静止気象衛星の整備 [国土交通省]				

次々期静止気象衛星の検討

令和8年度気象庁関係予算案決定概要から抜粋

(3) 次々期静止気象衛星に関する技術動向調査

令和8年度予算額案: 30百万円

- 2機体制による安定した衛星観測を維持するため、次々期静止気象衛星について、令和10年度から整備に着手し、令和16年度から運用開始することを目指す。調達仕様の確定するため、次々期静止気象衛星の整備で得た知見も活用しつつ、観測センサに関する世界の最新技術動向等について調査を行う。

技術動向調査

国内外の製造業者・研究所等の観測センサ技術等を調査

地上へのデータ伝送能力など、衛星本体に必要なスペックは？

最新のセンサ技術に基づく新たな観測要素の有無やその期待される利活用方法は？

製造業者等が保有する観測センサの観測性能は？

製造コストや期間、安定性は？

仕様への反映

世界最高水準の観測センサ技術の導入

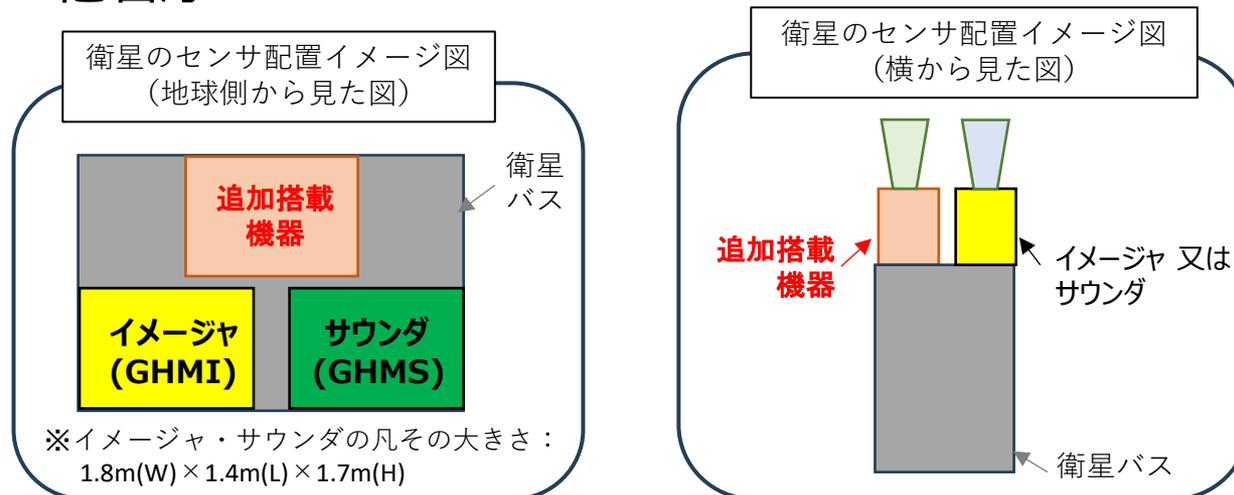
国内外の静止気象衛星の最新技術動向を取得し、次々期静止気象衛星の仕様へ反映する。

最新かつ世界最高水準の観測技術を次々期静止気象衛星に導入するため、観測センサの国際的な技術動向について、ひまわり10号を検討した際からの差分にあたる調査を実施。

令和9年度には衛星整備に係る調達仕様を確定し、令和10年度に次々期静止気象衛星の整備に着手することを目指す。

次々期静止気象衛星の検討

- 静止軌道プラットフォームとしての利用（衛星相乗り可能性）
 - 別ミッションの同時搭載性について職員による簡易的な検討を実施
 - イメージャ・サウンダ同等 (外寸) のものがH3ロケット搭載可能
 - 地球側への視野もイメージャ・サウンダ同等の確保が可能
 - 検討結果を踏まえた、各所への情報提供、相談を進めている。
 - 気象学会やひまわりデータ利用研究推進グループでの周知
 - 個別の大学・研究機関
 - 外国気象機関
 - 他省庁



(参考) WIGOSビジョン2040と各国の状況

WMOは、衛星を含む様々な観測を統合して取り扱うWMO統合全球観測システム（WIGOS: WMO Integrated Global Observing System）を推進しており、WIGOSビジョン2040で、2040年頃の静止気象衛星に求められる機能を推奨。

WIGOSビジョン2040	<div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> ○運用中 △試験運用中 計画あり (打上予定時期) - 未定 </div>		
	日本	米国	欧州
高頻度・多波長イメージャ 雲や地表によって反射された太陽光及び雲、地面、大気から放射される赤外線を測定し、雲や上空の水蒸気の分布を観測	○ (バンドの追加等の機能向上)		
ハイパースペクトル赤外サウンダ 大気等からの赤外放射を高い波数分解能で観測し、気温や水蒸気などの大気鉛直情報を得る	2030～	2035～	△
雷センサ 雷（対地雷及び雲放電）にともなう光（稲光）を検出することで雷を観測	-	○	○
紫外・可視・近赤外サウンダ 対流圏オゾンやNO ₂ といった大気汚染物質を観測	-	△	△